

■工務店様へのお願い

▲ 警 告

■躯体への固定

- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中弛まぬよう確実に締め付けてください。

■シーリング処理について

部材を外壁の上から取り付ける場合、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■基礎について

- 床面のモルタル打ちは、積載荷重が増え危険ですから避けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。
- 地盤の軟弱なところでは柱の埋込みの深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようご注意ください。
- 海砂はアルミの腐食のおそれがありますので、十分水洗いしたものをご使用ください。
- 寒冷地区では凍上によって柱が浮上するおそれがありますので、埋込み深さを考慮してください。
- 柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱内の水抜きができるようにしてください。また柱と基礎の付根のところにも水抜き穴（φ6位）をあけておいてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
- デッキボードは当社指定の製品をご使用ください。

▲ 注 意

■施主様へのお願い

▲ 注 意

- 積雪時には、危険ですので早めに雪下ろしをしてください。

お手入れ・問い合わせ先について

【建物の立地条件と清掃回数】

- 腐食の防止には定期清掃が一番です。簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程程度水洗いし、空ぶきするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい工業地帯、海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増やしてください。
- 洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。
- デッキボード等の部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのシステム取扱店、またはシステム営業店にお願いいたします。

交換・修理について

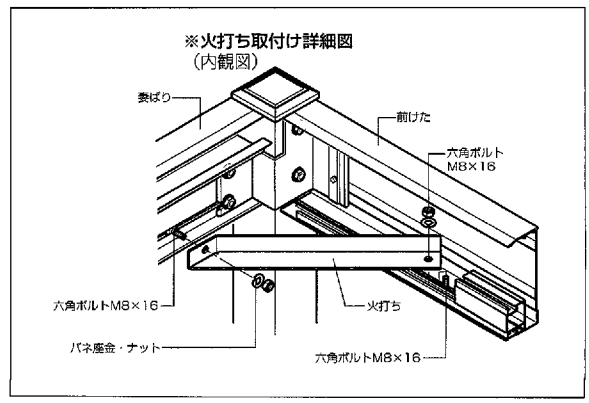
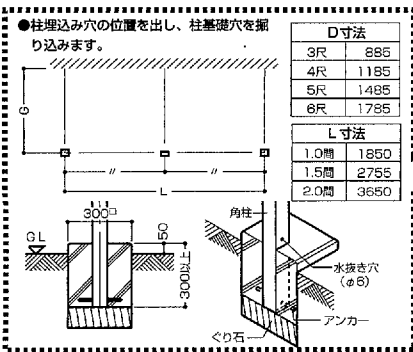
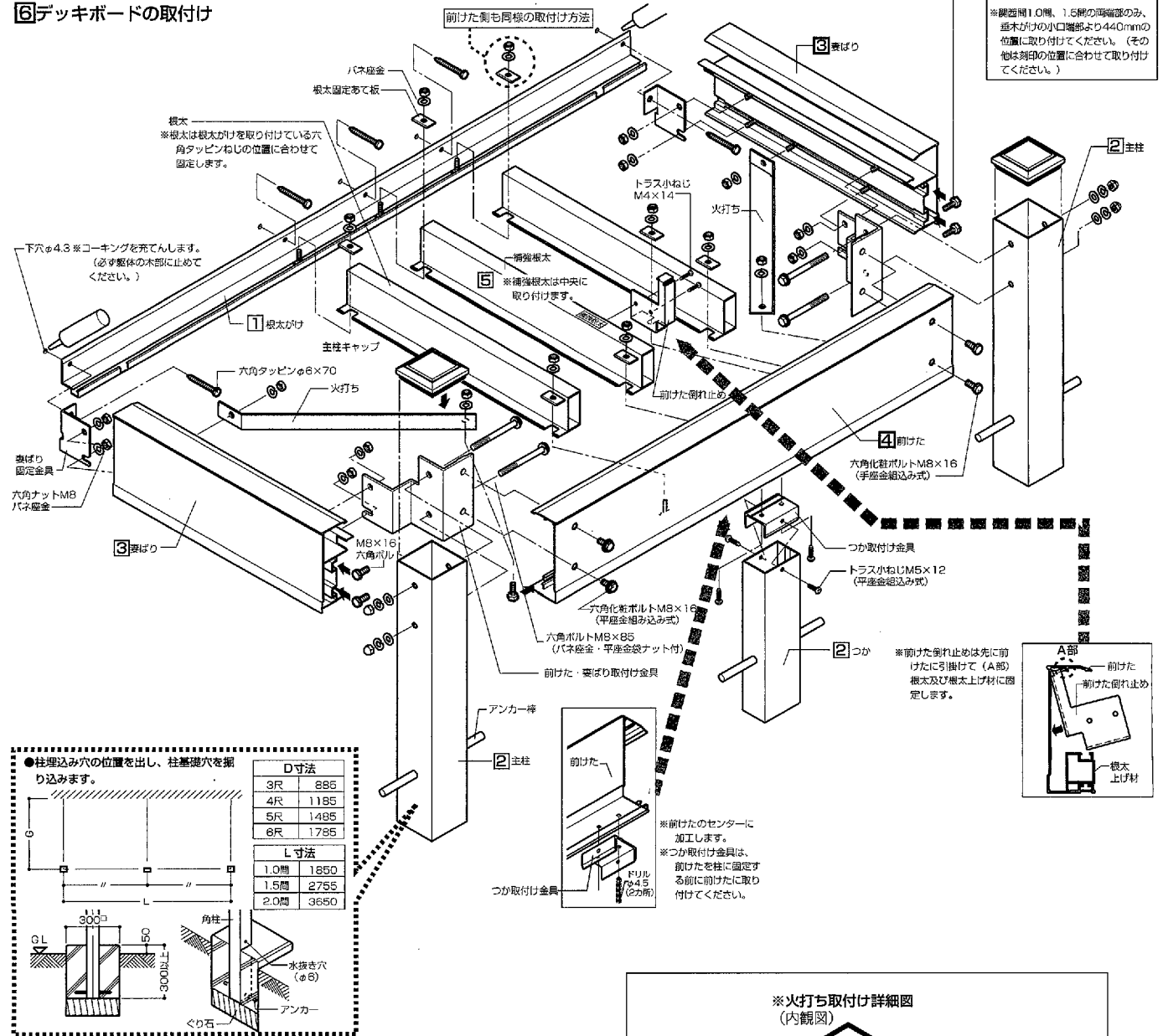
通常の手配によって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した「■工務店様へのお願い」及び、「■施主様へのお願い」を守っていなかった場合。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所（地域）に製品を設置した場合
- 工事上の欠点があった場合
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合
- 風・雪による落下や飛来による損傷
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着して起こる腐食
- 不可抗力（天災、地震、異常気象〔風、雪、水害など〕地盤沈下、火災、騒乱など）による場合
- 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲以外のもの（アクリルパネルなど）
- 当社以外のバルコニーと組み合わせた場合

■取付け順序

部材・部品の取付けは①～⑤の順に行い、最後にデッキボードを取り付けます。

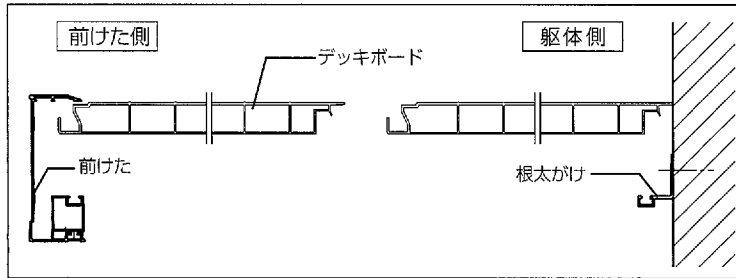
- ①根太がけの取付け
- ②支柱・つかの固定
- ③妻ばりの取付け
- ④前けたの取付け
- ⑤根太の取付け
- ⑥デッキボードの取付け



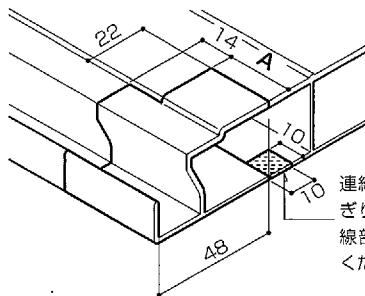
ぬれ縁

■デッキボードの取付け

- デッキボードの柱に当たる部分を切り欠き、根太にタッピンねじで固定します。デッキボードの向きに注意してください。



●デッキボード柱部逃げ切り欠き加工（両端部）



連結する場合にかぎり、連結側の斜線部を切り欠いてください。

	A
単体	$\frac{\ell - W}{2}$
2連結	妻梁側 $\ell - W - 25$
	連結側 25*

ℓ : デッキボード実測寸法(mm)
 W : 柱内々寸法(mm)
 L : 間口寸法(mm)

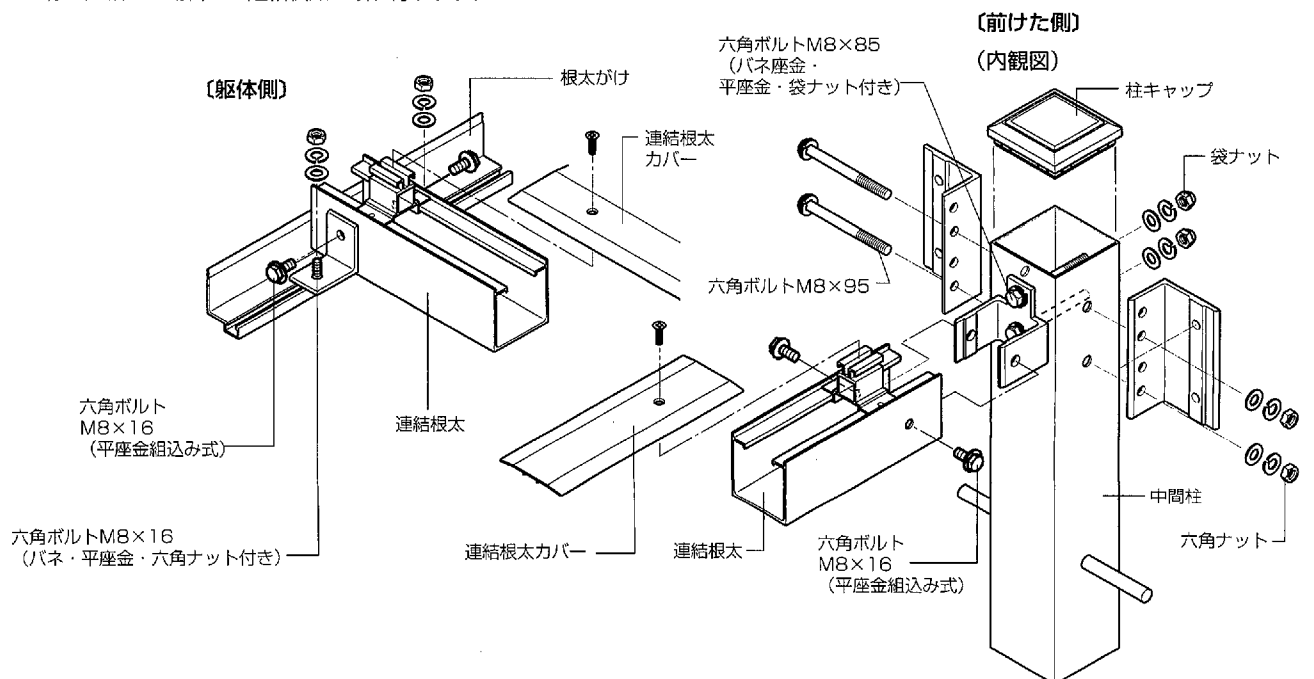
*3連結以上の両側連結となるデッキボードのA寸法も同様。
 ただし、 $\ell = L - 20$ であることを前提とする。

■テラス取付けの場合

- テラス柱に前けた妻ばり取付け金具固定穴（2-φ9貫通）をあけます。（根太がけの取付け位置を基準に穴の高さを決めてください。）
- その他は上記（単体タイプ）の取付け方法と同様です。

■連結する場合

- ぬれ縁を連結する場合は、連結根太を取り付けます。

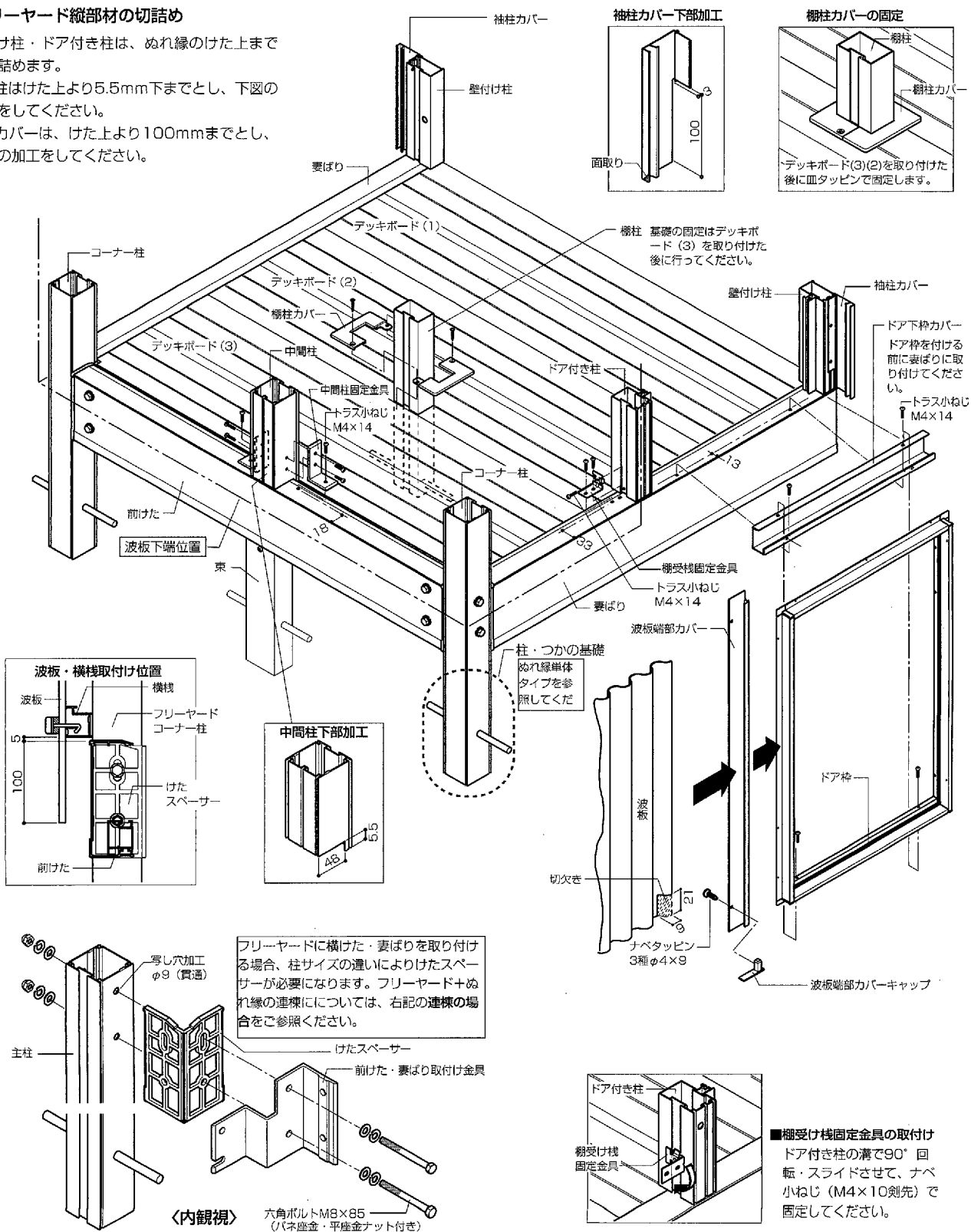


■フリーヤード納まりの場合

- 本図はフリーヤード（ドア付きタイプ）にぬれ縁を取り付けた例を示します。フリーヤード（基本タイプ・袖付きタイプ）の時もこの説明書を参照してください。
- M4の小ねじを使用する個所には下穴（φ3.5）をあけてください。

■フリーヤード縦部材の切詰め

- 壁付け柱・ドア付き柱は、ぬれ縁のけた上まで切り詰めます。
- 中間柱はけた上より5.5mm下までとし、下図の加工をしてください。
- 袖柱カバーは、けた上より100mmまでとし、右図の加工をしてください。



ぬれ縁

■妻梁・根太の切り詰め

●左右の妻ばり及び根太については下記〔表-1〕の寸法で切り詰めてください。

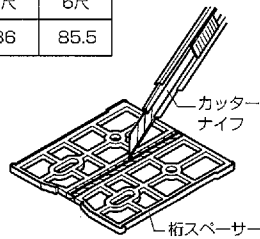
出幅	3R	4R	5R	6R
切詰め寸法	92	91.5	91	90.5

■連結根太・連結根太カバーの切り詰め

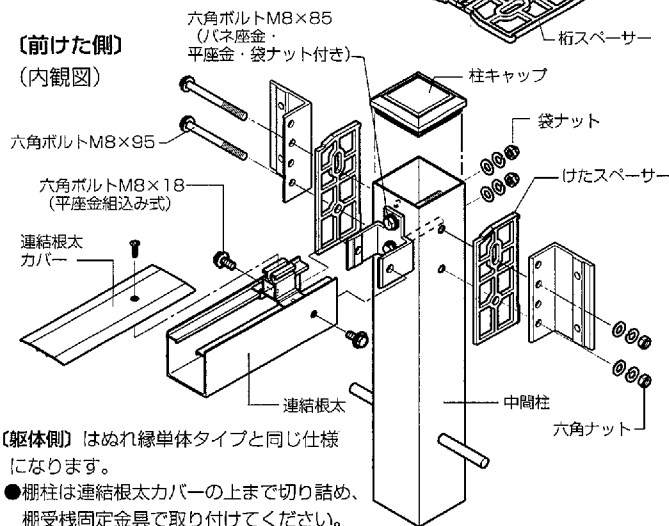
出幅	3R	4R	5R	6R
切詰め寸法	87	86.5	86	85.5

■連棟の場合

●フリーヤード+ぬれ縁の連棟では、けたスペーサーをカッターで2つに分割し、下図のように取り付けてください。



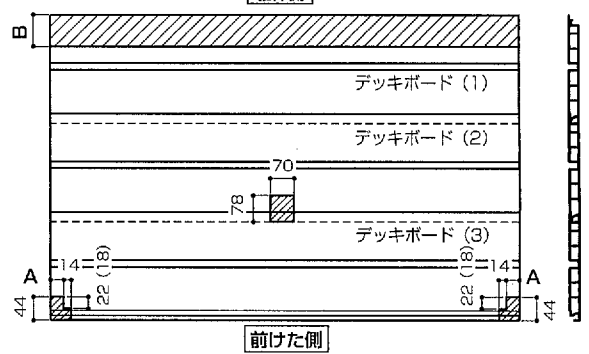
〔前けた側〕
〔内観図〕



〔躯体側〕はぬれ縁単体タイプと同じ仕様になります。

●棚柱は連結根太カバーの上まで切り詰め、棚受枠固定金具で取り付けてください。

■デッキボードの加工



●デッキボード(1)…最も躯体側にあるデッキボード
フリーヤードとぬれ縁の出幅方向のモジュール違いにより切詰めが発生します。(上図参照)
B寸法は〔表1〕を参照してください。

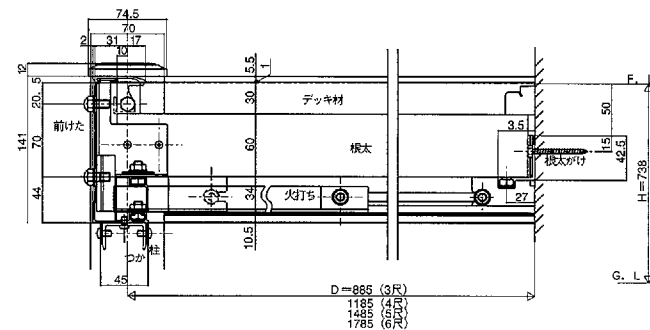
●デッキボード(2)…前けた側から2枚目のデッキボード
棚柱部分を切り欠きます。(上図参照)

●デッキボード(3)…最も前けた側のデッキボード
・コーナー柱部分を切り欠きます。(上図参照)
・A寸法は、ぬれ縁単体タイプを参照してください。
・連結時は()内寸法を使用してください。

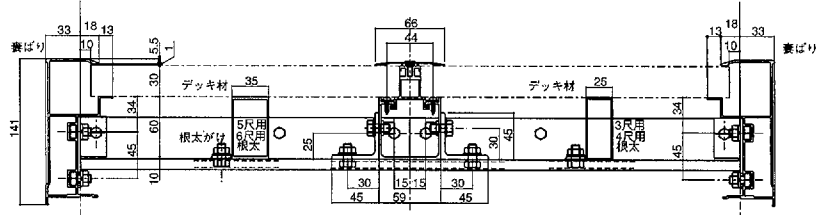
■基本図

ぬれ縁単体

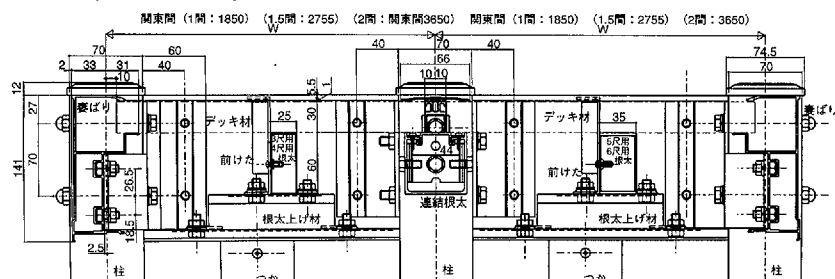
〔側面図〕



〔横断面図躯体側〕(連結部含む)



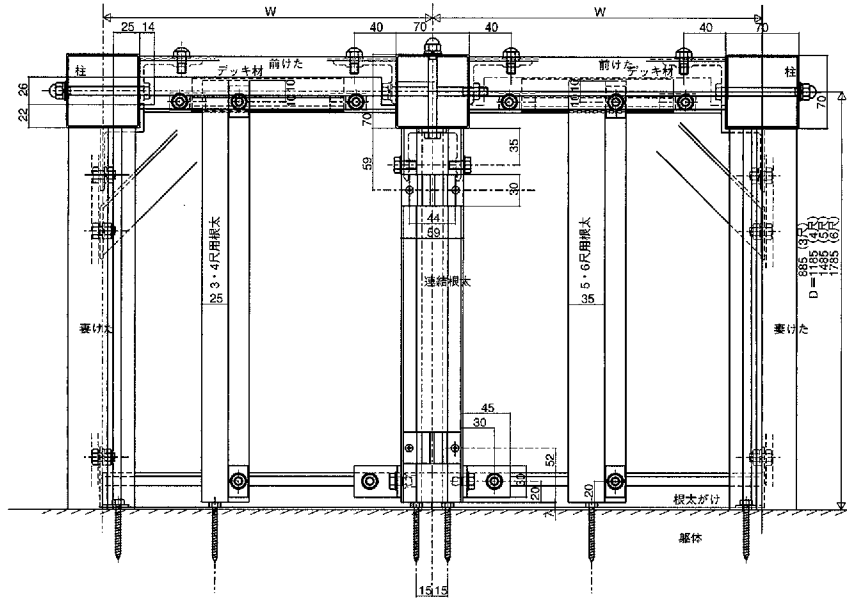
〔横断面図前けた側〕(連結部含む)



基本図

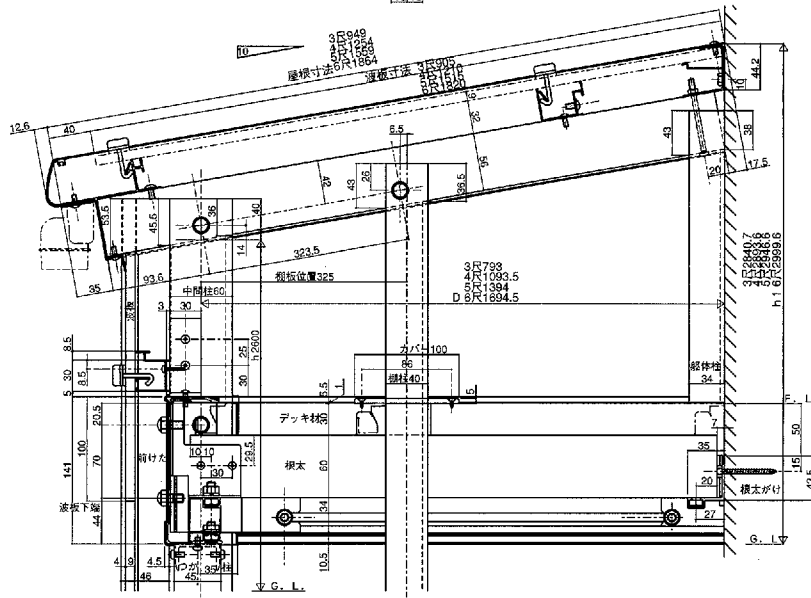
めれ縁単体

(平面図) (連結部含む)

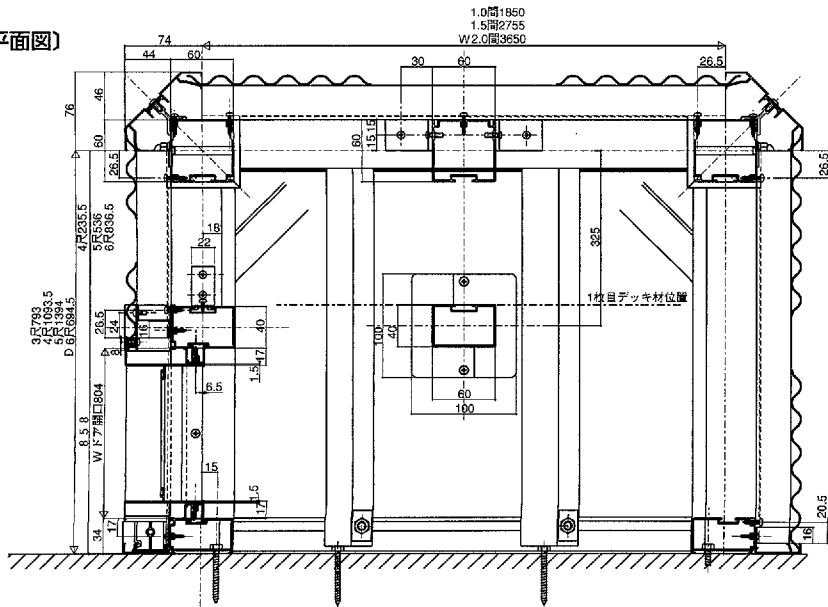


フリーヤード納まり

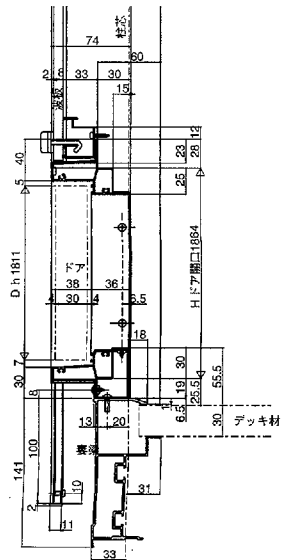
(側面図)



(平面図)



(ドア部側面図)



テラス

めれ縁